

福島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語特論Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0078		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	Good to Great by Jim Collins, An Imprint of HarperCollinsPublishers					
担当教員	原 真理子,本田 崇洋					
到達目標						
①単語・構文を理解し内容を把握できる。 ②オーディオを聞いて同様に理解できる。 ③テキストを正しく音読できる。 ④内容を要約しプレゼンテーションできる。 ⑤内容について英語で自分の意見が言える。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
英文読解	単語、構文を理解した上で自然でなめらかな日本語に訳せる。		単語、構文を理解した上で間違いなく日本語に訳せる。		単語、構文を理解できておらず誤訳になっている。	
音読	正しい発音で構文も把握しながら内容に応じ強弱のついた音読ができる。		正しい発音で一通り読む事ができる。		単語の発音が正しくなく、構文の理解がない読み方となっている。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	テキストを中心に文法（構文中心）や単語を理解し、読解力を身につける。更に作者によるオーディオを聞いて意味を理解できる。 更に内容を要約し、発表する力をつける。英語で内容について自分の意見も言えるようにする。					
授業の進め方・方法	定期試験は50分間の試験を実施する。 定期試験の成績を60%, 課題40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
注意点	学生は課題として指定された箇所のテキストをよく読み内容を理解する事、日本語訳を準備する事。オーディオをシャドーイングする事、該当箇所の要約を準備する事が求められる。また、要約のスピーチの発表者についてコメントをする事が求められる。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション ー教材、作者について ー音源とアクティブシャドーイングについて	授業の進め方についての説明		
		2週	1 Good Is the Enemy of Great 1/3 良好は偉大の敵	内容を理解できる（テキスト&Audio） 内容を要約し、発表できる 発表者に対し英語で意見が言える		
		3週	1 Good Is the Enemy of Great 2/3 良好は偉大の的 ーUndaunted Curiosity あくなく好奇心	同上		
		4週	1 Good Is the Enemy of Great 3/3 良好は偉大の的 ーThe Timeless "Physics of Good to Great"時代を超えた法則	同上		
		5週	Chapter 1 のまとめ	全体をまとめて内容をプレゼンテーションできる。 発表者の発表内容について自分のコメントが言える		
		6週	2 Level 5 Leadership 1/5 第五水準のリーダーシップ	内容を理解できる（テキスト&Audio） 内容を要約し、発表できる 発表者に対し英語で意見が言える		
		7週	2 Level 5 Leadership 2/5 第五水準のリーダーシップ ーNot What We Expected 予想していなかった点	同上		
		8週	2 Level 5 Leadership 3/5 第五水準のリーダーシップ -Humility + Will = Level 5 謙虚さ+不屈の精神=第五水準	同上		
	2ndQ	9週	2 Level 5 Leadership 4/5 第五水準のリーダーシップ - Unwavering Resolve 不屈の精神	同上		
		10週	2 Level 5 Leadership 5/5 第五水準のリーダーシップ - Cultivating L5 leadership 第五水準のリーダーシップを習得する	同上		
		11週	Chapter 2 のまとめ	全体をまとめて内容をプレゼンテーションできる。 発表者の発表内容について自分のコメントが言える		
		12週	3 First Who…Then What 1/5 だれをパスにのせるか	内容を理解できる（テキスト&Audio） 内容を要約し、発表できる 発表者に対し英語で意見が言える		

後期		13週	3 First Who...Then What 2/5 だれをバスにのせるか -Not A "Genius With A Thousand Helpers" 「1人の天才を1千人で支える」方式はとらない	同上
		14週	3 First Who...Then What 3/5 だれをバスにのせるか -It's Who You Pay, Not How You Pay Them 誰に報酬を支払うかが問題で、どう支払うかは問題ではない	同上
		15週	3 First Who...Then What 4/5 だれをバスにのせるか - Rigorous, Not Ruthless 厳格であって冷酷ではない	同上
		16週		
	3rdQ	1週	3 First Who...Then What 5/5 だれをバスにのせるか -First Who, Great Companies, and A great Life 偉大な企業と素晴らしい人生	同上
		2週	Chapter 3 のまとめ	全体をまとめて内容をプレゼンテーションできる。 発表者の発表内容について自分のコメントがいえる
		3週	4 Confront The Brutal Facts 1/5 厳しい現実を直視する	内容を理解できる (テキスト&Audio) 内容を要約し、発表できる 発表者に対し英語で意見がいえる
		4週	4 Confront The Brutal Facts 2/5 厳しい現実を直視する -Facts Are Better Than Dreams 事実は夢にまさる	同上
		5週	4 Confront The Brutal Facts 3/5 厳しい現実を直視する -A Climate Where The Truth is Heard 真実に耳を傾ける社風を作る	同上
		6週	4 Confront The Brutal Facts 4/5 厳しい現実を直視する - Unwavering Faith Amid The Brutal Facts 厳しい現実のなかで勝利への確信を失わない	同上
		7週	4 Confront The Brutal Facts 5/5 厳しい現実を直視する - The Stockdale Paradox ストックデールの原則	同上
		8週	Chapter 4 のまとめ	全体をまとめて内容をプレゼンテーションできる。 発表者の発表内容について自分のコメントがいえる
	4thQ	9週	5 The Hedgehog Concept 針鼠の概念1/6	内容を理解できる (テキスト&Audio) 内容を要約し、発表できる 発表者に対し英語で意見がいえる
		10週	5 The Hedgehog Concept 針鼠の概念2/6 - The Three Circle 三つの円	同上
		11週	5 The Hedgehog Concept 針鼠の概念3/6 -Understanding What You Can Be the Best At 世界一になれる部分となれない部分	同上
		12週	5 The Hedgehog Concept 針鼠の概念4/6 -Insight Your Economic Engine 経済的原動力は何か	同上
		13週	5 The Hedgehog Concept 針鼠の概念5/6 -Understanding Your Passion 情熱を理解する	同上
		14週	5 The Hedgehog Concept 針鼠の概念6/6 -The Triumph of Understanding over Bravado 虚勢ではなく現実の認識	同上
		15週	Chapter 5 のまとめ	全体をまとめて内容をプレゼンテーションできる。 発表者の発表内容について自分のコメントがいえる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	

				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習		自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0